

GX Green Transformation

まちを変える 未来が変わる

GX(グリーン・トランスフォーメーション)とは、経済成長と環境保護を両立させ、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」という、カーボンニュートラルにいち早く移行するために経済社会システム全体を変革していくことです。

環境政策課 ☎(584)4691 FAX(584)4818

令和4年度 市湖岸清掃運動&琵琶湖湖底ごみ除去活動

11月12日(土)
午前9時～
(受付：午前8時30分～)

※11月7日(月)までに電話で
上記へ申し込み
(申込期間を延長しました)

湖岸清掃運動&湖底ごみ除去活動は、赤野井湾再生への大きな取り組みです。

赤野井湾再生プロジェクト代表の秋山 道雄さんに話を伺いました。

人間も、琵琶湖の生き物たちも守り 安心して住める赤野井湾再生へ前進

赤野井湾再生プロジェクトは琵琶湖湖底に住む生物(特に貝類)の生息環境を守りたいと、長年地道な活動を続けている団体や個人で構成しています。各々の地道な活動により、赤野井湾や琵琶湖では、少しずつ水質・湖底泥(酸欠状態)の改善が見られています。海洋プラスチックごみの問題が社会提起される中、日本一広い湖の琵琶湖はどうかと心配されるようになり、平成30年度から年に一度、環境団体や市民参加で湖底ごみの除去活動を行うようになりました。

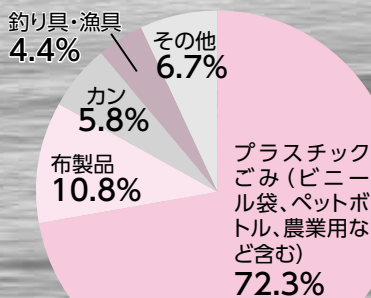
昨年度の湖底ごみ除去活動では水量が少なく、回収しやすかったとはいえ、620.5kg(材木・流木を除く)というごみの多さに驚きます。さらに、分析結果(右表)から自然に還らないプラスチックごみは、回収されたごみ全体の72.3%に上りました。

ごみを捨てないこと、自然に還らないごみは回収して環境への影響や負荷を減らすこと。人間を含むすべての生物が安心して住める赤野井湾と琵琶湖のために、できることはたくさんあります。

湖岸清掃運動&琵琶湖湖底ごみ除去活動は、直接的にごみを減らすだけでなく、多くの人に水環境に関心を持ってもらう機会になると期待しています。



琵琶湖湖底ごみ除去活動 令和3年度の分析結果



その他は、金属製品、可燃ごみ、ビン、ガラス製品

赤野井湾再生プロジェクト 代表

あきやま みちお
秋山 道雄さん(滋賀県立大学 名誉教授)

